

# えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323  
E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>

2024年8号  
2024.12.22



## 市民参加型の文化財保護を 上尾市の地域遺産を活かす施策の展開

文化財保存活用地域計画の策定と保存・活用施策の実施が必要

令和6年12月定例会が12月2日に開会しました。今定例会では上尾市多文化共生推進委員会条例の制定など、様々な議案が提案されており、慎重な審査を行っていきます。

今回、一般質問では①子ども・子育て施策、②歴史民俗資料の保護・活用施策、③多様な主体との連携について質問予定です。

この質問のため、11月15日に埼玉県立歴史と民俗の博物館で館長にお話をお伺いした際に歴史民俗文化財の保護について全国的に見ても先進的であるとご紹介いただいた白岡市に視察に伺いました。

白岡市では『**白岡市文化財保存活用地域計画**』を策定し、市民参加型での保護施策をとっています。今回は主導的な役割を果たした職員の方に思いや手法についても丁寧にご説明いただきました。その中で、指定にとらわれず「自分たちが守りたい文化財を自分たちで守る」ことができる体制を提供することが自治体の役割という考えから市民提案型の『白岡遺産』の制度を設けたことについてもお話があり、上尾市にも必要な視点であると感じました。

**上尾市には素晴らしい文化や歴史・民俗資料がある**にもかかわらず、市民の間ですら十分に共有されているとは言えません。これらを活かす策について質問していきます。



白岡市の視察の様子



### キーワード

#### 文化財保存活用地域計画

各市町村で取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、**市町村における文化財の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプラン**。白岡市では、指定の有無にかかわらず市民が自ら文化財を守る『白岡遺産』制度をこの計画に組み入れている。



### データでみる

#### 上尾市の指定文化財

人口が同規模で『文化財保存活用地域計画』を策定している春日部市と比較しても上尾市の指定文化財は多い

種別	上尾市	春日部市
有形文化財	51	46
無形文化財	0	1
有形民俗文化財	11	3
無形民俗文化財	7	9
記念物	15	10
合計	84	69

**一般質問は12月12日(木) 午後2時15分より行います。**

傍聴にお越しく下さい。また、インターネット中継でもご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)



# 市民の声を形に

令和6年12月定例会一般質問

質問予定

①子ども・子育て ②歴史民俗資料の保存・活用 ③多様な主体との連携

## 市民の声

## 質問予定の内容

子ども・子育て

勤労世帯

認可保育所の空きがない際に、認可外保育所それぞれに空き状況を毎日確認しなければならない。  
働きながら問合せをするのは負担。

認可外保育所の空き状況について、上尾市として把握を行い市民への情報提供を行うべきと考えるがいかがか。

多様な主体との連携

空き家・空き地

空き家や空き地について、所有者がわかっても活用の意思がない場合にそのままになってしまっている事例が多くあり解決してほしい。

不動産協会や宅建協会と連携して、空き家・空き地の所有者に対し売却も含めた問題解決のための提案ができる体制をとるべきと考えるがいかがか。

多様な主体との連携

企業との連携

上尾市と協力してイベントを開催したいが、どのようにしたら良いのかがわからない。連携の仕組みをつくってほしい。

企業やNPOと連携をし、積極的に民間の知見を活用してイベント・講座・相談などの事業を実施していくべきであると考えがどうか。

市民の皆さんの声をふまえて、12月定例会での一般質問のテーマを決めました。  
12月12日(木)2時15分より一般質問を行いますので、傍聴もしくはオンラインでご覧ください。

## 令和6年12月定例会議案

〈74号〉一般会計補正予算(第5号)

今定例会に提案されている議案についてご説明します。



補正予算額

5億3,402万9千円

### 主な事業

事業名	予算額
生活保護世帯における医療機関への受診者数の増加等の影響により、医療扶助費等に不足が生じることから増額計上	2億5,065万7千円
健康プラザわくわくランドの温水配管改修工事を実施	7,478万9千円
ひとり親家庭等医療費支給事業について、マイコプラズマ肺炎等の流行による医療費の増	1,721万1千円

### えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。  
●上智大学法学部卒  
●首都大学東京社会人類学教室修了。  
国連UNHCR協会職員などを経て、  
衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。  
2017年、上尾市議会議員に当選(現在3期目)。都市整備消防常任委員会委員、議会運営委員会委員、上尾、桶川、伊奈衛生組合議員、環境審議会委員など。家族:妻、長男(9才)、長女(8才)、次男(6才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見やお困りごとなど